

# なかしべつ 議会だより

No.129  
令和3年4月



4月1日に開校しました岩谷学園ひがし北海道日本語学校職員のみなさん

- 主な内容** **令和3年度各会計予算を議決しました** (P2)  
**予算審査特別委員会の議論** (P3~4)  
**3月定例会「一般質問」** (P6~10)  
**岩谷学園ひがし北海道日本語学校** (P13)

予算審査特別委員会

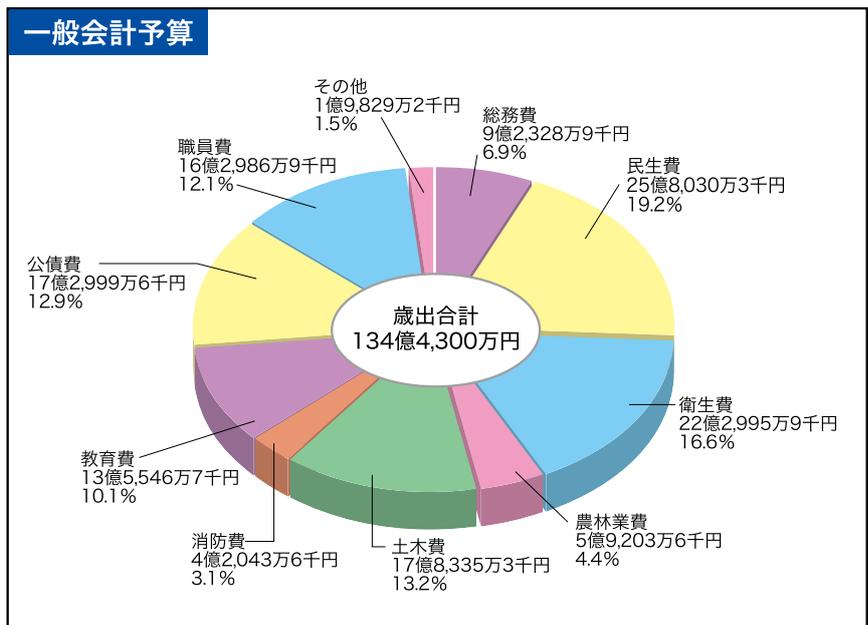
前年度比2.6%減

# 各会計総額予算 255億7,004万6千円

一般会計 134億4,300万円  
 特別会計 65億6,464万7千円  
 公営企業会計 55億6,239万9千円

令和3年度一般会計予算、各特別会計予算、企業会計予算、ならびに関連する条例制定等については、予算審査特別委員会（高橋善貞委員長）に付託されました。

委員会は3月9日・10日・15日の3日間にわたり開催され、慎重かつ熱心に審議が行われました。3月18日定例会最終日に、結果報告、質疑、討論となり、宗形一輝議員、佐藤武志議員が賛成討論を行い、採決の結果、全会一致により、原案どおり可決されました。



## 主な事業

- 外部会議場活用事業（感染防止対策による民間会議場活用） 100万円
- ふるさと応援制度推進事業（地域資源活用） 1億3,443万円
- 日本語学校開校・共生社会推進事業（協力隊員1名配置） 635万2千円
- 関係人口創出事業（テレワーク誘致事業補助） 211万3千円
- 医療的ケア児支援事業（日中一時支援拡充） 730万7千円
- PCB廃棄物処理経費 532万2千円
- 経営持続化応援補助 1,000万円
- 東中流末排水整備事業（北川沿通～標津川樋門の測量設計） 1,370万円
- 小学校設備改修事業（中標津小学校暖房パネル改修） 7,933万2千円
- 体育施設等改修経費（温水プール設備改修・町営球場スコアボード改修） 400万5千円

## 関連する条例の制定・一部改正等

- 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について  
 （町長、副町長、教育長の給与月額15%の減～令和4年3月31日まで）  
 （管理職の給与月額5%の減～令和4年3月31日まで）  
 （議員報酬5%の減～令和4年3月31日まで） 他5件

令和3年

# 予算審査特別委員会 一問一答

## 総務部所管

### ◆職員人材育成等経費について

**【質問】** 町立病院の看護師に資格手当を創設したが、職員の中から技術職の資格を取らせ、人材を育成していかないか。

**【答弁】** 他の自治体の先行事例なども情報収集し、一つの方策として、今後取り組んでいく。

### ◆ふるさと応援制度推進事業について

**【質問】** ふるさと応援ツアーを企画されているとのことだが、このようなツアーを考えているのか。

**【答弁】** ある程度コロナ禍が落ち着いたら頃に開催を見込みたい。

基本的には当町に寄附者を招いて、イベント等を楽しんでいただくことを想定している。

**【質問】** 町の宣伝として体験型

ツアーなど高額な返礼品等の開発もしてみてもどうか。

**【答弁】** 旅行のパッケージ商品については、多面から検討し、町のPR、さまざまな角度からの返礼品の検討を進めていく。

## 町民生活部所管

### ◆高齢者支援事業について

**【質問】** 要援護者台帳の登録者人数と利用方法について説明願いたい。

**【答弁】** 登録世帯は983世帯で、要援護者台帳の活用方法としては、民生委員・児童委員と情報を共有し、見守り活動にも活用している。警察からの徘徊高齢者等の身元照会、消防署か



らの救急要請時における緊急連絡先照会の対応などにも利用されている。

### ◆医療的ケア児支援事業について

**【質問】** 医療的ケアを必要とする子供の支援とお母さんが一時休息する事業で、このようなケアや支援を受けることができるのか。

**【答弁】** 新たに看護師を配置することで、医療的ケア児の受け入れが可能となり、保護者の養育負担の軽減、身体・精神的ケアにつながるよう取り組み、保育園での受け入れに向け、医療機関と連携調整を図る。

また、日中一時支援事業については、障害者の方を一時預かりすることで保護者の方が休息を取ることができると

### ◆街路灯維持管理経費について

**【質問】** 街路灯のLEDへの交換など省エネ化を考えると



いるのか。

**【答弁】** 一部LEDとなつているが、ほとんどエバーライトランプとなつている。

既にエバーライトや水銀ランプは生産が終了しており、在庫のみとなつていることから、今後、必然的にLEDランプに交換していくものと考えている。

### ◆高額医療費について

**【質問】** 昨年度の予算から比べると627万円増加しているが、この増加の原因は、この増加の原因

**【答弁】** 高額療養費を含む保険給付費の各科目については、道内の国民健康保険全体の医療費に被保険者数推計等乗じ、北海道が算出した金額にて予算計上している。

なお、本町の被保険者数は減少する見込みですが北海道が推計した1人当たりの医療費が上昇し

ていることから、高額療養費についても前年度と比較し627万円の増額となる。

### ◆地域活性化支援補助金について

**【質問】** 令和2年度の申請件数と採用件数について説明願いたい。

**【答弁】** 9団体から相談があり、直接的な感染予防対策に向けた取り組みのほか、新しい生活様式を取り入れたイベント実施など、最終的に8団体へ支援をした。

### ◆音楽関係のイベントについて

**【質問】** 音楽関係のイベントを申し込んだ方から却下され、補助を受けるに至らなかったと聞いている。令和3年度については、内容をより明確にした条件というものの提示が必要になるのではないか。

**【答弁】** 新年度については、対象要件を拡充しており、今後、十分に住民の方に



説明について。

## 経済部所管

### ◆日本語学校開校・共生社会推進事業について

**【質問】** 6名の外国人留学生在が中標津に居住することになったが、災害発生時など緊急を要する場合の情報伝達はこのように考えているのか。

また、広報紙にやさしい日本語コーナーのようなものを設けるなど、対応が必要となつてくると思うが、このように考えているか。

**【答弁】** 病院や消防など生活に密接に係る団体と事前に打ち合わせを行い、受け入れに向け準備を進めている。

また、ホームページ等も英語、中国語、韓国語と対応しており、さらに、ベトナム人の地域おこし協力隊の4月着任に向けて準備を進めている。

なお、やさしい日本語については、開校予定の岩谷学園と協力しながら進めていきたい。

**【質問】** ベトナムからの地域おこし協力隊員1名はこのように環境で、ここに配

置しようとしているのか。

**【答弁】** 4月着任に向け、準備を進めているベトナム地域おこし協力隊の活動拠点については相談事等もしやすい、役場が適当と判断した。

**【質問】** 東川町のような交流センターが必要なのか、その中核になる人材をどこに配置するのか、今後研究をしていただきたい。

**【答弁】** このような機能が必要か場所を含め、将来に向けて考えていきたい。

◆森林環境譲与税活用事業について

**【質問】** 経営管理されていない私有人工林所有者への意向確認調査の中で、森林組合にも委託しない、何もしないという所有者がいた場合、基本的な考え方がありましたらお聞かせいただきたい。

**【答弁】** 現在森林所有者に対して戸別訪問による意向確認調査を計画的に実施しており、森林組合に同行を依頼し、制度の説明と所有森林の確認、間伐の推進等を行っている。所有者から経営管理を委ねる同意が得られた森

林については、森林組合が所有者との間で森林経営の委託契約を締結することとしている。

**【質問】** 現在21件を訪問して、概ね間伐の実施には同意を得ており、今後もそれを最大限活用した森林整備の推進を図る。

**【質問】** 町有林として買い取るくらいの大胆な発想で、この問題に切り込んでいく必要があるのではないかと。

**【答弁】** まずは調査しながら、整備についてどう考えていくか検討していきたい。

◆空き地空き店舗等活用事業について

**【質問】** 2店舗目は適用外だが、実際に2店舗目に関する問い合わせや申し込みはあるか。

**【答弁】** 事業の対象者については新規創業者となつては5年以上事業継続された方については、店舗改



修や新築、また修繕等を支援する中小企業応援事業の対象となる。

**【質問】** 最初の店舗で働いていた人が新たに系列店のようなものを出す場合は、対象になるか。

**【答弁】** 従業員の方が独立されるような場合については、新規事業という扱いで、対象になる。

建設水道部所管

◆除雪事業について

**【質問】** 説明を受けた概算計上とあるがどういう意味なのか。

**【答弁】** 近年の除雪費用を説明願いたい。

**【質問】** 過去の実績では降雪が少なく、当初予算で対応できていた年もあり、最低限の予算として計上している。

**【答弁】** 天候により大きく左右されてしまう事業内容であり、近年の除雪の実績は、令和元年度、決算額で1億9千221万3千円。平成30年度は1億5千765万5千円。29年度は1億2千610万4千円となっている。過去に1億円程度で済んだ年もあり、最低限の

予算を計上している。

**【質問】** 例年、補正を繰返しているが過去の実績による予算計上してはいかがか。

**【答弁】** 今後においては、財政課と協議し予算計上していきたい。

◆財産貸付収入について

**【質問】** 遊休地を駐車場として利用し、歳入確保するという形を取れないか。

**【答弁】** 市街地の町有地においては、駐車場として使用されているところが見受けられる。今後、このような町が保有する公有財産について、「売り払いをする」「貸し付けをする」「継続して維持管理をする」など、未利用財産を活用基本方針に基づき対応し、歳入確保に努めてまいりたい。

教育委員会所管

◆小学校設備改修事業について

**【質問】** 中標津小学校暖房パネル改修について、パネル



ヒーターを1千147台更新して、暖房能力を全体で38%向上させる内容であるが、各教室に換気のための開口部が全くないので、窓を開けるとこの認識でよろしいか。

**【答弁】** そのとおり窓を開けての換気となる。

**【質問】** 二酸化炭素の増に合わせ換気扇を自動運転することができる機械換気設計に変更してはどうか。

**【答弁】** 窓を開けて暖房し、暖房能力は38%向上するということは、38%余計に灯油を消費するというところで地球温暖化に関する計画の精神と大きく食い違う設計なのではないか。

**【質問】** 現在、感染症防止に有効な換気方法は、文部科学省から通知されているが、機械換気が、有効だといものは、今現在示されていない。

**【答弁】** 基本的には開放して空気を入れ替える方法が最も効果的で推奨されてお

り、冷えた空気を早く通常の室温に戻すための暖房改修となる。なお、学習環境の確保及び学校生活の安全確保につながるものなので、地球温暖化の計画とは異なるものと考えている。

◆農業高校就学環境支援対策事業について

**【質問】** 4月からのバスの運行について、どのように計画されているのか伺いたい。

**【答弁】** 令和3年度については、54名の入学者数を見込み、生徒数合計134名となる。

**【質問】** そのうちバスの乗車予測生徒数は、合計96名がバス通学すると推測している。

**【答弁】** バスの乗車定員が57名であり、2便に分けて乗車すると最大114名が乗車することができ、これまでと同様、乗車可能というところで考えている。



# 3月定例会 全議案可決

令和3年3月定例会を3月8日から18日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

## ■令和2年度中標津町各会計補正予算

### ◇一般会計補正予算（第11号）

18億6,785万5千円を追加し、総額199億3,140万1千円となりました。

#### 補正内容

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター関連事業）・国産チーズ振興枠、広陵中学校長寿命化改良事業（広陵中学校グラウンド改修工事）ほか

### ◇一般会計補正予算（第12号）

4,000万円を追加し、総額199億7,140万1千円となりました。（除雪委託料）

### ◇国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

26万4千円を追加し、総額27億4,566万3千円となりました。

### ◇後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

800万1千円を追加し、総額2億8,821万1千円となりました。

### ◇介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

4,462万5千円を追加し、総額16億880万円となりました。

### ◇町営牧場特別会計補正予算（第2号）

540万4千円を追加し、総額6,452万9千円となりました。

### ◇下水道事業特別会計補正予算（第2号）

1億3,218万3千円を減額し、総額10億2,154万5千円となりました。

### ◇簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

2,240万円を減額し、総額5億4,149万6千円となりました。

### ◇水道事業会計補正予算（第2号）

597万円を減額し、総額9億6,904万9千円となりました。

### ◇町立中標津病院事業会計補正予算（第6号）

9,434万6千円を追加し、51億761万2千円となりました。

## ■条例の一部改正

### ◇中標津町手数料条例の一部を改正する条例制定について

### ◇中標津町へき地保育所条例の一部を改正する条例制定について

他6件

## ■その他

### ◇町有地の無償貸付について（中標津地方魚菜株式会社）

### ◇第2期中標津町都市計画マスタープランについて



定例会最終日、起立採決の様子

3月定例会で以下の項目について町長及び教育長から報告を受けました。

## 一般行政報告

1. 寄贈金品について
2. 学校法人岩谷学園誘致について
3. 医師の採用について

## 教育行政報告

1. 各種大会等の出場結果について
2. 町立学校の卒業式について

詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。  
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>



# 一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。  
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



## 質問 成年後見制度の利用と促進に関する法律と中核機関について

答弁 根室振興局に調整などを相談してまいります

宗形 一輝 議員



### 質問

支障がある者を社会全体で支え合い、共生社会の実現に資するためには、成年後見制度の利用促進が必要です。

中核機関の整備と協議会を設置することにより、多くの方が権利擁護と意思決定支援を受けられます。

中核機関は地域連携ネットワークの中核となる機関で支援の必要な人が制度を利用できるように、法律家である弁護士や司法書士はもちろん福祉関係、医療関係、金融関係団体、民生委員、社会福祉協議会等の各分野における専門家が集まりネットワークを構築するシステムとなっております。

一部の機能は後見センターにおいて担っているところでありますが、現状その機能は十分発揮されておらず、中核機関設置とともに、さらなる機能強化が要請されております。

成年後見制度利用促進法においての基本計画が令和3年度最終年度となっておりますことから、地方は特にサポートを受けにくいところですので、一刻も早い中核機関の整備、協議会の設置、計画の策定が求められます。

町長はどのようにお考えでしょうか。

### 町長答弁

中核機関の整備について二つの成年後見実施機関と業務連携を進めることもに、中核機関の設置につきましては人口規模から管内4町における対策を模索しています。

実施機関に協力を求めているところで、根室振興局にその調整などを相談してまいります。

## 質問 エゾシカ対策について

### 答弁 銃器での駆除とシカ肉の有効活用の両面で進める

佐藤 武志 議員



#### 質問

根室振興局のエゾシカ対策で昨年度の被害額は4億1千500万円ありました。

推定生息数は、2019年度速報値で全道67万頭、道東32万頭と推定されています。捕獲数は2019年度、10万6千頭です。

直近の中標津町の捕獲数・シカ肉の利活用・農林業被害額・実施していない囲いなどを止めた理由についてお伺いします。

また、2018年度の全道の農林業被害額の半分は牧草ということから、地域の酪農家に取り大きな損失を被るようになります。

エゾシカを減少させる対策を強化すべきと考えますが、いかがでしょうか。

#### 町長答弁

令和2年5月～10月の166日間を有害駆除期間として、銃器で捕獲駆除を行い909頭と前年度比178頭の増となっております。

次に、本町の農林業被害額は令和元年度で8千748万円になり牧草が3千139万円、馬鈴薯で1千676万円となっております。

シカ肉の利活用度では令和2年度で96.6%を有効活用しており、ペットフード等への活用が95.7%、食肉への活用は0.9%です。

また皮の供給も行っています。

次に、囲いなどを止めた経緯ですが、平成23年度に河川敷地に近い場所に設置し、6年間で30頭の捕獲を行い28年度まで終了しました。

囲いなどの劣化とシカが近づかない状況になったからです。

今後も農林業被害対策のため銃器での有害駆除を継続・強化してご同様に、シカ肉の有効活用と両面の観点から対策を進めてまいります。

## 質問 被災者支援システムの導入について

### 答弁 今後の可能性について検討をします

安藤 美佳 議員



#### 質問

被災者支援システムは、被災者のために必要な支援策を集約し開発したもので、住民基本台帳のデータをベースに災害発生時の被災者台帳を作り、罹災証明の発行から支援金や義援金の交付、救済物資の管理、仮設住宅の入退去などを一元的に管理できるシステムです。

現在、地方公共団体情報システム機構が地方公共団体に無償で提供しており、全国サポートセンターも設置され、地方公共団体へ講師を派遣し、説明会も実施されています。

先般、釧路市が導入して

おり、中標津町としても被災者支援システムの早期導入を強く求めたいと思いますが、町長の見解をお伺いいたします。

#### 町長答弁

被災者支援システムは、災害発生時における地方公共団体の業務をサポートするシステムとして全国の地方自治体に公開・提供されています。

新たな費用を発生させることなく、ほぼ無償でシステムを導入することが可能となっており、平成31年4月1日時点で、全国で388団体が導入しております。

本町におきましても、被災者支援システムの導入検討に当たり、すでに地方公共団体情報システム機構へ利用申請を行い、システムへの接続許可を取得しておりますので、今後は活用の可能性について検討を行ってまいります。

## 質問 町内会活動の活性化について

答弁 行政としてできることに対応してまいります

松野美哉子 議員



### 質問

今年の1月現在、中標津町の町内会加入率は、40・29%であります。

道東でも大地震が示唆されており、共助である町内会の隣近所で助け合える力を付けておかなければ自助だけでは切り抜けられせん。

町は、より現実的な提案により、共に助け合える安心・安全なまちづくりの対応をいかがお考えでしょうか。

### 町長答弁

町内会加入率は、年々減

少傾向が続いております。町では高齢者世帯を見守る体制作りのため要援護者台帳の整備と備蓄計画に基づく計画的な備蓄を拡充しております。

町内会活動の活性化は、災害時における、三助に大きく影響するものであり、安心・安全な町づくりの基本的な部分です。

災害時には、町内会加入の有無に関わらず、町民の安心と安全の確保に町一丸となり取り組みます。

町内会加入率の向上は、加入が任意であることから、難しい側面があります。課題解決に向け、自治基本条例の見直しなど、諮問機関での検討を進め行政として、できることに対応してまいります。

### 他の一般質問

○子ども達の安全教育について

## 質問 日本遺産「鮭の聖地」の物語への再加入について

答弁 新たな展開があれば前向きに検討します

江口 智子 議員



### 質問

昨年6月文化庁より認定された、日本遺産「鮭の聖地」の物語は根室海峡一万年の道程は、標津町に事務局を置く「鮭の聖地メナシネットワーク」において、現在ガイド育成ビデオの作成や、周遊モデルのプラン作りに取りかかる段階と聞いております。

文化財の一つである格子状防風林は当町が参加していないため、所在地が別海町・標津町と表記されていることに違和感を覚えます。

また宿場としての役割の大きい当町の飲食、宿泊事業者がコロナ禍を払しょくするため、そして広域観光の観点からも再加入し、1

市4町で力を合わせて経済復興に取り組むべきではないでしょうか。

### 町長答弁

この日本遺産の取り組みは、コロナ禍で低迷する根室地域の観光分野において起爆剤となり得る観光コンテンツであり、今後の取り組みに大いに期待するところであります。

日本遺産「鮭の聖地」が認定を受けるにあたっては、ストーリーの組み立てなど長い間のご苦労があったとお聞きしており、再加入については、各方面のご判断やご意見もあろうかと存じますので、新たな展開があった際には、前向きに検討させていただきたいと考えております。

これまで1市4町との行政・観光事業など連携がございまして、引き続き本町の観光の魅力に磨きをかけていくとともに、空港や都市機能などを活かして地域の中で役割を果たしてまいりたいと考えております。

**質問** まちづくりを考える町民懇談会における道の駅開設にかかる町側の答弁について

**答弁** 今のところ道の駅を整備する考えはありません

松村 康弘 議員



**質問**

昨年11月に開催された町民との懇談会において、町民から「中標津に道の駅がないのはどうしてか」という質問があり、その回答として「観光の発信という点では必要だが町内にはコンビニや買い物をする場所、飲食店が多くあるので充分代替ができる。また、黒字経営をしている道の駅はほとんどない現状に鑑み、現時点では造る考えはありません。」との回答をされました。

一昨年の高校生と議会との懇談会において、中標津農高から南町のあたりに道の駅を建設し、町の特産品をアピールすべきだという提案をいただいています。新製品を開発し続けてい

る彼らの気持ちに共感するならば、今般新たに設置を予定している郷土館機能に複合施設を研究すべきではないでしょうか。

**町長答弁**

駐車場やトイレ、情報発信施設については国の特定交通安全施設等整備事業などの補助事業を活用できますが、地域の物産館などの「地域連携機能」については基本的に市町村が自前で整備する必要があります。

また、隣接している自治体との広域の視点も考えあわせると、当町として今のところ道の駅を整備する考えはありません。

一方、旧農事試験場一帯に係る歴史的建造物の保存活用に向けて、郷土館や博物館としての活用とともに、観光情報発信施設として多くの人が集まっていただけの形を希望しています。

**他の一般質問**

- 太陽光発電施設と景観条例の運用について
- SDGs実現に向けた町の取り組みについて

**質問** ANAグループの出向社員の受け入れについて

**答弁** 正式に出向受け入れに関する手続きをしたところです

阿部 隆弘 議員



**質問**

ANAホールディングスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年3月期の連結決算が過去最大の赤字となる見通しを発表、10月に公表された構造改革では、新型コロナウイルス収入収束後を見据え、雇用を最大限維持するため、外部企業・自治体などへの出向を進めることを決めております。

鳥取県では、県内企業への出向を橋渡しする取組を、佐賀県、石川県・三重県・沖縄県浦添市も受入を表明しています。中標津町も、運行するANAグループの出向社員の受け入れを表明すべきと考えます。

本町にとっても行政業務の活性化や人材育成にもつながり、教育分野での活躍も期待できると思います。また、町内企業との出向のマッチングの支援にも取り組み、将来の人事交流等へとつなげていくことが必要ではないでしょうか。町長の見解をお伺いいたします。

**町長答弁**

ひがし北海道支店を通じて、本年1月には、正式にANAグループ社員の出向受け入れに関する手続きをさせていただいたところです。

今のところ、ANAから出向に関して正式な連絡はございませんが、聞くところによりまして、今年4月に出向を予定していた社員については、ほぼ出向先が決定しているのではないかとこの情報もあるところです。

当町としましては、年度途中での受け入れも想定しながら、ANAへ依頼しており状況に動きがあらましたらお知らせしたいと考えております。

## 質問 人口減少における定住に向けた取組について

答弁 子育て支援の充実を図ることは非常に重要です

平山 光生 議員



### 質問

中標津町においても人口減少が進む中、施策の1つとして、子育て支援の充実があります。トワイライトやショートステイなどの子育て短期支援事業は整備されています。

子育て世代の共働き家庭や一人親家庭にとって、夜勤や出張は常になり越えなければいけない課題であり、子育て短期支援事業の有無は、安心して就労し、定住を決める重要事項ですので、早急に取り組まなければいけない事項だと考えますがいかがでしょうか。

### 町長答弁

子育て短期支援事業を実施する市町村は、地域に実施設が備わっているところ

ろに限られており、本町では整備されていないのが現状です。

相談事業に関しましては、釧路児童相談所と連携を図り、保護者の同意により保護所での一時保護又は里親への一時保護委託とした制度により対応しているところであります。

令和3年4月1日から市町村が児童を里親等に直接委託して実施することが可能となり、この体制の構築に向けて町民の皆さんの里親制度への関心と登録が促進されるような取り組みも必要と考えております。

働き方が多様化するなかで、支援の充実を図ることは非常に重要であり、子育て世代の定住促進を図るうえで、共働き世帯やひとり親家庭にとって、働く場の確保や環境の整備が充実し、本町に魅力を感じていただけることが、何よりも大切であろうと考えており、前向きに取り組んでまいりたいと考えております。

### 他の一般質問

○不妊治療費助成事業に係る中標津町単独助成事業について

## 第1回臨時会

2月18日に開催された臨時会において、補正予算について審議し、議決しました。

### ■令和2年度中標津町各会計補正予算

#### ◇一般会計補正予算（第10号）

7,281万1千円を追加し、総額180億6,354万6千円となりました。

各施設感染防止対策事業（役場庁舎、交通センター等、共生型交流センター、保健センター）

介護施設感染拡大防止対策事業（介護施設等入所者、介護事業所従事者のPCR検査）

総合福祉センター施設整備（換気窓設置、インターネット環境整備【福祉避難所】）

観光推進事業（マーケティング、ブランディング、受入環境整備）

救急隊員等感染防止対策事業（シールド付きヘルメット、自動式心臓マッサージ機 他）

学校保健特別対策事業（サーキュレーター、パーテーション 他）

学校等施設改修事業（トイレ洋式化）

#### ◇病院事業会計補正予算（第5号）

1億1,778万2千円を追加し、総額50億1,326万6千円となりました。

医療提供体制整備事業（外来待合表示、自動精算機 他）

### ■専決処分の承認を求めることについて

一般会計補正予算（第9号）除雪委託料5,000万円

## 意見書

## みんなの声を国政に



詳しい内容はホームページに掲載しています。  
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から下記意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

### 核兵器禁止条約の批准と日本の果たすべき使命を全うすることを求める意見書

提出者 佐久間ふみ子 議員

2017年7月に国連会議で採択された核兵器禁止条約が2020年10月25日、批准国50に達し、条約の規定により90日後の2021年1月22日に発効しました。

同条約の発効は、核兵器の非人道性を厳しく告発し、その開発、実験、生産、保有から使用と威嚇にいたるまで全面的に禁止して違法化し、完全廃絶までの枠組みと道筋を明記することで、核保有国を一層政治的・道義的に包囲し追い詰め、核兵器廃絶へ向けた動きに弾みをつけることは間違いありません。

グテーレス国連事務総長が、「世界の運動が成就した」と歓迎したように、核兵器のない世界の実現に向けて条約制定・批准を働きかけた被爆者やNGO関係者、平和を願う多くの人々の努力に心から敬意を表します。

しかし、残念ながら、唯一の戦争被爆国である日本は批准に至っておりません。核兵器国と

非核兵器国との間の「真の橋渡し役」としての責務を果たしていくためには、核兵器締約国合にオブザーバーとして早期参加を表明し、現時点で参加に後ろ向きな国々にも対話のドアを開けることが重要です。

また、締約国に対して、締約国会合の広島・長崎への招致や、平和式典の時期に合わせた特別会合開催の気運醸成に向けた努力が求められます。

1945年、あの8月の広島、長崎における多くの死者とその後遺症に悩む人々の気持ちに想いを寄せ、唯一の被爆国として、日本はこの条約が国際社会に実現されるべく努力すべきと求めるものです。

### 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

提出者 平山 光生 議員

日本産科婦人科学会のまとめによると、2018年に不妊治療の一つである体外受精で生まれた子どもは5万6千979人となり、前年に続いて過去最高を更新したことが分かった。これは実に16人に1人が体外受精で生まれたことになる。また、

晩婚化等で妊娠を考える年齢が上がり、不妊に悩む人々が増えていることから、治療件数も45万4千893件と過去最高となった。

国においては2004年度から、年1回10万円を限度に助成を行う「特定不妊治療助成事業」が創設され、その後も助成額の拡充や所得制限の緩和等が段階的に行われてきている。

また、今年の1月からは所得制限の撤廃、助成額1回15万円（初回のみ30万円）から1回30万円、助成回数も生涯6回から子供一人当たり6回と拡充が行われた。その間、不妊治療への保険適用もなされてきたが、その範囲は不妊の原因調査等、一部に限られている。保険適用外の体外受精や顕微授精は、1回当たり数十万円の費用がかかる何度も繰り返すことが多いため、不妊治療を行う人々にとっては過重な経済負担になっている。

厚生労働省は、不妊治療の実施件数や費用等の実態調査を昨年10月から始めているが、保険適用の拡大は早急に解決しなければならぬ喫緊の課題である。

そこで国においては、不妊治療を行う人々が、今後も安心して治療できるよう、左記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

1 不妊治療は一人ひとりに最適な形で実施することが重要であるため、不妊治療の保険適用の拡大に当たっては、治療を受ける人の選択肢を狭めることがないよう十分配慮すること。

具体的には、現在、保険対象となっていない「人工授精」を始め、特定不妊治療である「体外受精」や「顕微授精」、さらには「男性に対する治療」についてもその対象であり、診療体制についても弊害とならないよう検討すること。

2 不妊治療と仕事が両立できる環境を更に整備することにも、相談やカウンセリング等、不妊治療に関する個人・企業等の相談体制の拡充を図ること。

3 不育症への不妊治療の保険適用及び助成についても検討すること。

# 広域連合・一部事務組合の議会報告

3月2日開催

## 根室北部廃棄物処理広域連合

(構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町)

- 令和2年度一般会計補正予算  
106万円を減額し、予算総額9億8,214万円
- 令和3年度一般会計予算総額  
8億9,100万円

## 根室北部消防事務組合

(構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町)

- 令和2年度一般会計補正予算  
128万5千円を追加し、予算総額17億3,304万9千円
- 令和3年度一般会計予算総額  
16億8,905万円

## 根室北部衛生組合

(構成町：中標津町、標津町、羅臼町)

- 令和2年度一般会計補正予算  
2,166万円を減額し、予算総額4億340万9千円
- 令和3年度一般会計予算総額  
8億6,869万3千円

## 中標津町外2町葬斎組合

(構成町：中標津町、別海町、標津町)

- 令和3年度一般会計予算総額  
7,358万1千円

## 中標津町議会に関するアンケート調査のご協力

本調査の目的は、皆さまの中標津町議会への意識調査を行い、議会改革を進めるにあたり、より町民の負託に応えるべく行うものです。

期間は**5月6日から5月31日**までとなっております。

アンケートは、各種団体をお願いするほか、より多くの町民の皆様に参加していただけるよう、こちらのQRコードからもご回答いただけます。

また、紙のアンケート用紙が必要な方は、議会事務局までご連絡ください。

<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/gikaikaikaku/>



## 議会改革特別委員会



◆副町長の選任について同意しました

## 人事案件

任氏名  
期名  
令和3年4月1日から  
令和7年3月31日  
遠藤俊勝氏

# 岩谷学園ひがし北海道日本語学校が開校しました

## ● 学校概要

- ・住所 中標津町字西竹1285番地3  
(旧中標津町生涯学習研究所)
- ・学科 日本語科
- ・定員 1学年50名  
2年制(合計定員100名)
- ・開校 令和3年4月1日



## ● 開校までの取り組み

- |             |                                      |
|-------------|--------------------------------------|
| 平成30年12月20日 | 「中標津町岩谷学園誘致の会」設立                     |
| 令和元年6月27日   | 学校法人岩谷学園・中標津町・町商工会・誘致の会による連携協定書締結    |
| 令和2年5月29日   | 校舎改修完成、事務所開所式                        |
| 8月28日       | 西竹町内会との連携協力に関する協定の締結                 |
| 9月1日        | 中標津との経済交流に関する連携協定の締結                 |
| 9月16～18日    | 留学生との地域理解・多文化交流事業実施                  |
| 9月28日       | 私立各種学校設置認可申請書の提出(根室振興局)              |
| 10月12日      | 留学生の生活安全に係る警察署長との懇談及び情報交換等(中標津警察署)   |
| 10月15日      | 中標津高校、中標津農業高校進路指導担当教諭との意見交換等         |
| 10月19日      | 外国人留学生をパート雇用する場合の制度習得セミナー開催(商工会主催)   |
| 10月20日      | 副署長ほか各担当部署との救急・火災等に関する情報交換等(中標津消防署)  |
| 10月27日      | 事務長ほか各担当部署との救急、医療等に関する情報交換等(町立中標津病院) |
| 11月13日      | 産業建設常任委員会視察                          |
| 11月27日      | 全町町内会長会議における説明                       |
| 11月28日      | 多文化共生セミナー開催(北海道主催)                   |
| 11月30日      | 留学生住居説明会開催                           |
| 12月14日～16日  | 外国人材受け入れセミナー開催(南知床4町雇用創造協議会主催)       |
| 12月17日      | 私立各種学校設置認可(北海道→岩谷学園)                 |
| 令和3年1月19日   | 地域住民と外国人との多文化共生ワークショップ開催(北海道主催)      |
| 1月20日       | ウィズコロナ時代の外国人雇用セミナー開催(北海道主催)          |
| 2月18日       | 外国人留学生アルバイト雇用説明会開催(誘致の会主催)           |
| 4月13日       | 入校式・記念式典(入学予定者6名)                    |

# 常任委員会活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

## 総務文教 常任委員会

### 総務部

#### ●町財政の現状について

主にふるさと納税を含めた中の自主財源確保を進めるべきではないか、また返礼品のあり方についても活発な意見が出てあらためて検討をお願いします。

地方財政対策のポイントについては、地域デジタル社会推進費（仮称）について金額の計上ベースが何かが、防災・減災、国土強靱化の推進等に關しての質問があり、さらに詳しい説明を受けました。

#### ●北方領土対策について

「北方領土の日」根室管内住民大会についてはコロナの感染拡大状況を考慮し、式典

については登壇する関係者のみで式典を行い、ユーチューブによる配信を予定しているが中学生の并論発表は中止になったとの説明を受けました。

### 教育委員会

#### ●地域学校協働本部の取組状況について

事業経過と現在の状況、コミュニティスクールとの違いなどの説明を受けました。

#### ●文化財保存活用地域計画の進捗状況について

郷土資料等の保存状況についての質問をし、現在大小あわせて4万8千点ほどあり、すべて展示は難しいとのこと。保管状況を確認するため、の視察を行うことになりました。また、写真をとり資料としても展示してはの質問には、考えていきたいとの回答をいただきました。



国指定有形文化財 伝成館

#### ●学習用タブレット端末の件について

児童生徒一人一台というところでネットの安全性の確保について話し合いました。

#### ●農業高校のスクールバスについて

バスの大きさや町有バスなどの提案をしました。

委員会開催 1月25日

(佐野弥奈美 議員)

## 厚生 常任委員会

### 町立病院

#### ●管理運営について

令和2年度4月以降の経営状況については、依然として厳しい状況ながらも、昨年11月時点で、病床利用率が60%、一日平均患者数が百人を超えるなど、実績が向上してきているとの報告がありました。

また、新型コロナウイルス感染症対策としての国からの資金の導入により、懸案の資金不足比率が12%台で落ち着く見込みであるとの説明がありました。今後の対応策を質問しました。

町民生活部

●介護保険事業について

従来の通所者の送迎に加え、令和3年度からの新規事業として、単位老人クラブや高齢者サロンの参加者などと町民を含めての介護予防、認知症予防事業の案が示されました。

●社会福祉協議会との懇談会について

1月12日の午後には、総



社会福祉協議会との懇談

合福祉センターで社協との懇談会を行い、「コロナ禍の影響による寄付金減少など、財政状況の説明を受けました。

●古紙・リサイクル事業について

日本製紙が釧路から撤退するこの報道があり、再考を求める署名運動も展開されているところです。

今後、古新聞の受け入れ先についての調整が必要となる可能性はあるものの、当町における「ごみ減量リサイクル事業報奨金」の単価への影響は、現時点ではないとの説明がありました。が、当町としての対応策の必要性を指摘しました。

委員会開催 1月12日

2月12日

(黒川 静夫 議員)

産業建設  
常任委員会

建設水道部

●除雪事業について

除雪体制は専用トラックや除雪トローザ、グレーターその他貸与車両10台、委託車両82台、総台数96台で道路延長550・5kmの除雪を行っています。



購入した除雪トラック

除雪経費の目安としては、

出勤1回当り市街地だけで約900万円、郊外全域で400万円、市街地部分排雪（交通量の多い交差点・横断歩道部分）も400万円との説明を受けました。

「経費を考えると、交差点重点の排雪も有効で非常に良い」「車道に対して歩道の除雪が雑で歩きづらいこの苦情もある」などの意見が出されました。

●大規模盛土造成地変動予測調査について

過去の大きな地震で、谷や沢を埋めた大規模な盛土造成地において各地で崩落被害が発生したことから、国は地震による災害の未然防止、軽減を目的に「宅地耐震化推進事業」を創設しました。これを受けて、令和2年3月に谷埋めが10箇所・傾斜地盛土が1箇所

調査結果をマップにして公表しています。

11箇所調査で3箇所が造成地から除かれています。が、「民有地の資産価値の低下」や「町有地の有無」等の質問があり、令和4年まで（地盤調査や安定計算）の調査を実施するとの説明を受けました。

経済部

●岩谷学園について

日本語学校の開校式は4月13日の予定で、入学試験合格者は（バングラディッシュ・ウスベキスタン・スリランカ・タイ）の47名で留学ビザ申請中との報告を受けました。

委員会開催 2月18日

(熊倉 重樹 議員)

## 令和3年1月から3月までの活動報告

月日	行 事	出席者	月日	行 事	出席者
1月13日	厚生常任委員会	全 委 員		中標津町外2町葬斎組合、根室北	
14日	議会広報特別委員会	全 委 員		部消防事務組合、根室北部衛生組	
19日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名		合 各議会定例会	
21日	都市計画審議会	副 議 長・ 産業建設常任委員長	3日	議会運営委員会	全 委 員
			8日	総務文教常任委員会	全 委 員
25日	総務文教常任委員会	全 委 員		厚生常任委員会	全 委 員
29日	議会改革特別委員会	全 委 員		産業建設常任委員会	全 委 員
	議会運営委員会	全 委 員		議会運営委員会	全 委 員
2月3日	全員協議会	全 議 員		3月定例会本会議（1日目）	欠 席 1 名
7日	「北方領土の日」根室管内住民大会（根室市）	副 議 長		全員協議会	欠 席 1 名
12日	厚生常任委員会	全 委 員	9日	3月定例会本会議（2日目）	欠 席 1 名
18日	三合同常任委員会	全 委 員		予算審査特別委員会（1日目）	欠 席 1 名
	第1回臨時会	欠 席 1 名	10日	予算審査特別委員会（2日目）	欠 席 1 名
	全員協議会	欠 席 1 名	11日	厚生常任委員会	全 委 員
	産業建設常任委員会	全 委 員		産業建設常任委員会	全 委 員
19日	（仮称）第7期中標津町総合計画等特別委員会	全 委 員	12日	総務文教常任委員会	全 委 員
	3月定例会議件事前説明	副 議 長・ 正副議運委員長 ・三常任委員長	15日	予算審査特別委員会（3日目）	欠 席 1 名
				三合同常任委員会	全 委 員
			17日	議会運営委員会	全 委 員
3月2日	議会改革特別委員会	全 委 員	18日	3月定例会本会議（3日目）	欠 席 1 名
	根室北部廃棄物処理広域連合定例会	関 係 議 員	22日	議会改革特別委員会	欠 席 1 名
			23日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
				議会改革特別委員会（自治推進会議との懇談会）	欠 席 1 名
			24日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名

### 議会モニターを募集

中標津町議会では、議会の運営等に皆さんの要望や提言を反映させるため、議会モニターを募集しています。任期は令和3年6月15日から2年間です。

人数は10人程度で選挙権のある町民を対象にしていますが、応募人数が超過した場合は選考させていただきます。

職務内容は、本会議、委員会等の運営に関する意見や議会だより、ホームページ、議会報告会に関する意見を文書で提出すること。また、議会議員と年1回以上の意見交換を行います。

本会議、委員会等の傍聴等では報酬はありませんが、意見交換の際は日当、交通費を支給します。

募集期間は、令和3年5月12日（水）までです。

なお、新型コロナウイルス感染拡大により、委員会の傍聴を制限する場合がありますので、予めご了承ください。

興味のある方は、中標津町議会事務局  
(TEL73-3111) へお問い合わせ下さい。

### 自治功労者表彰

このたび、松村康弘議員が全国町村議会議長会から自治功労者（議員として27年以上在職）として表彰されましたので、2月18日、議場において伝達式が行われました。



### 議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp> ・メールは [gikai@nakashibetsu.jp](mailto:gikai@nakashibetsu.jp)



発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会